

令和6(2024)年度第2回学術システム研究センター運営委員会

議事概要

1 日時 令和7年1月27日(月)14:30~16:30【ハイブリッド会議】

2 参加者

(委員)

山本委員長、相澤委員、井上委員、喜々津委員、栗原委員、瀧澤委員、田代委員、辻中委員、永田委員、林委員、宮嶋委員

(役員)

杉野理事長、水本理事、小谷理事、速水監事、米村監事

(学術システム研究センター)

大野所長、岸本副所長、西田副所長、福田相談役、佐藤顧問、黒木顧問

(事務局)

岡本経営企画部長、金子事務長

3 議事概要

<議題>

- (1) 前回議事概要(案)について
- (2) 学術システム研究センター副所長の人事について
- (3) 令和8(2026)年度学術システム研究センター研究員選考について

- (1) 前回議事概要(案)の承認について

資料1に基づき、事務局より説明があり、令和6(2024)年度第1回学術システム研究センター運営委員会議事概要の内容及び公開について了承された。

- (2) 学術システム研究センター副所長の人事について

資料2に基づき、事務局より説明があり、原案のとおり、学術システム研究センター副所長の人事について了承された。選考のプロセスについて明確にしてほしいとの要望があった。

- (3) 令和8(2026)年度学術システム研究センター研究員選考について

資料3に基づき、事務局より学術システム研究センター研究員の選考基準について、研究員に必要な資質として、科研費や特別研究員制度に知識、理解を持ち、高い倫理意識や公正かつ適切な判断が出来る方を重視するため、順番の入替を行う旨の説明があり、改正案について了承された。また、以下のように意見交換が行われた。

- 選考に当たっては、機関の設置形態、地域、男女比のバランスにも留意していることが分かるが、専門調査班の中での専門分野のバランスについても一段と留意いただきたい。

<報告>

- (1) 令和7(2025)年度学術システム研究センターの体制について
資料4に基づき、事務局より報告があった。
- (2) 学術システム研究センター令和6(2024)年度活動状況について
資料5に基づき、事務局より報告があり、研究員の業務負担に関連して女性研究者を増やす取り組みについて、意見交換が行われた。
- (3) 科研費の審査システム改革の現状について
資料6に基づき、事務局より報告があった。
- (4) 令和7(2025)年度独立行政法人日本学術振興会予算案の概要について
資料7に基づき、事務局より報告があった。